

令和8年度
当初予算・組織の概要



藤枝市
Fujieda City

第 6 次藤枝市総合計画

後期計画（R8～R12）がスタート！

まち・自然・文化と共生 未来へ飛躍

基本理念

幸せになるまち 藤枝づくり

基本目標

- 1 市民の命と安全・安心を守る藤枝づくり
- 2 市民の健康で豊かな暮らしを実現する藤枝づくり
- 3 こどもが健やかに学び、育つ藤枝づくり
- 4 力強い地域産業を育み、安心して働ける藤枝づくり
- 5 魅力と活力、持続力ある地域がつながる藤枝づくり
- 6 豊かな自然環境と資源を守り、
次代につながる藤枝づくり
- 7 夢と希望にあふれ、
未来につながる藤枝づくり

令和 8 年度

戦略方針のテーマ

未来へ繋がる、持続可能な藤枝の実現

～魅力と活力が躍動するまちへ！～

◆ まちの安心感を高める ◆ まちの競争力を高める ◆ まちの持続力を高める

1 当初予算・組織の概要

令和 8 年度 当初予算のポイント

“選択と集中”で未来をひらく

重点投資型の予算編成

(一般会計)

653億 8,000万円

前年度から 13 億円減 (▲1.9%)

- ◆必要事業の重点化と積極的な推進
- ◆特定財源の確保と基金の有効活用
- ◆未来への投資と後年度負担とのバランスを考慮

まちの安心感を高める

住み続けたいくなるまちづくりで安心感を創出

- ◆危機管理や医療体制の充実・強化、防犯対策の推進

まちの競争力を高める

まち・経済の成長で、魅力と力強さを創出

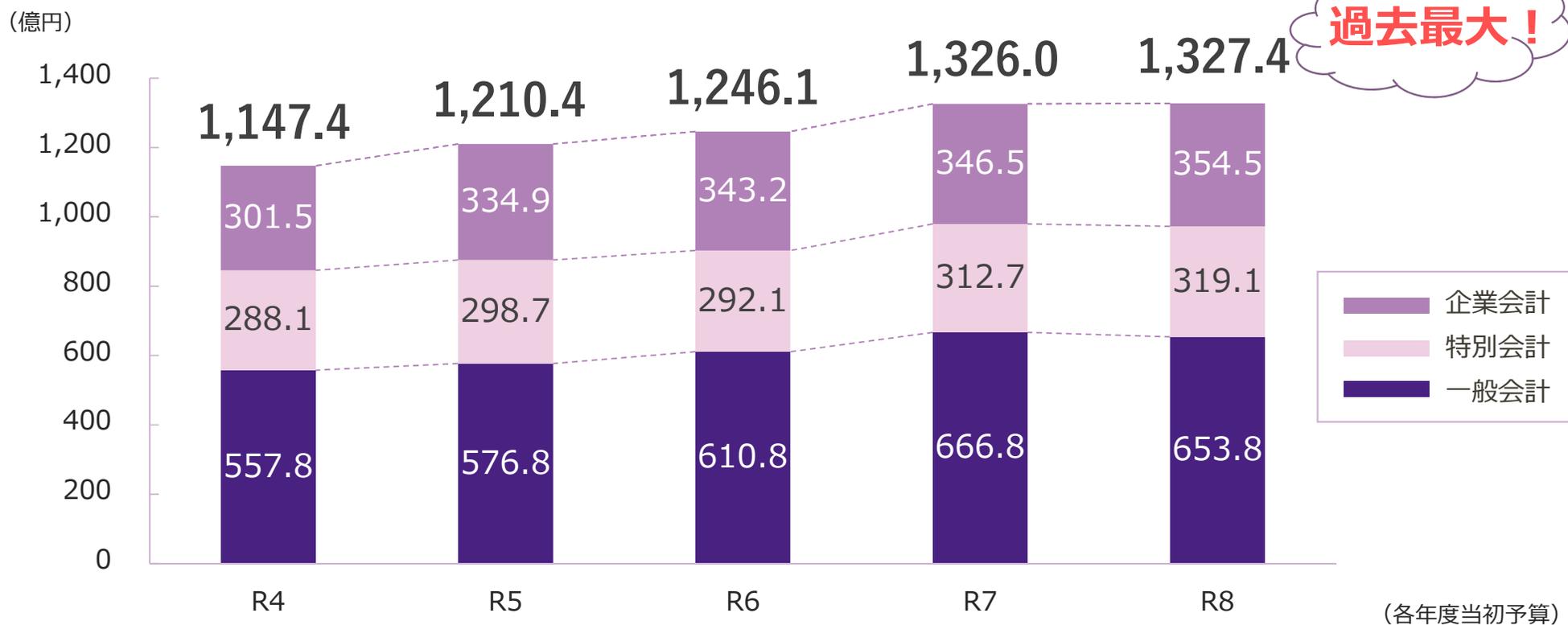
- ◆中心市街地や旧市街地の活性化、多様な企業の立地促進

まちの持続力を高める

人口減少にも順応する活力と耐力を創出

- ◆学校教育や生涯学習の充実、地域福祉の推進

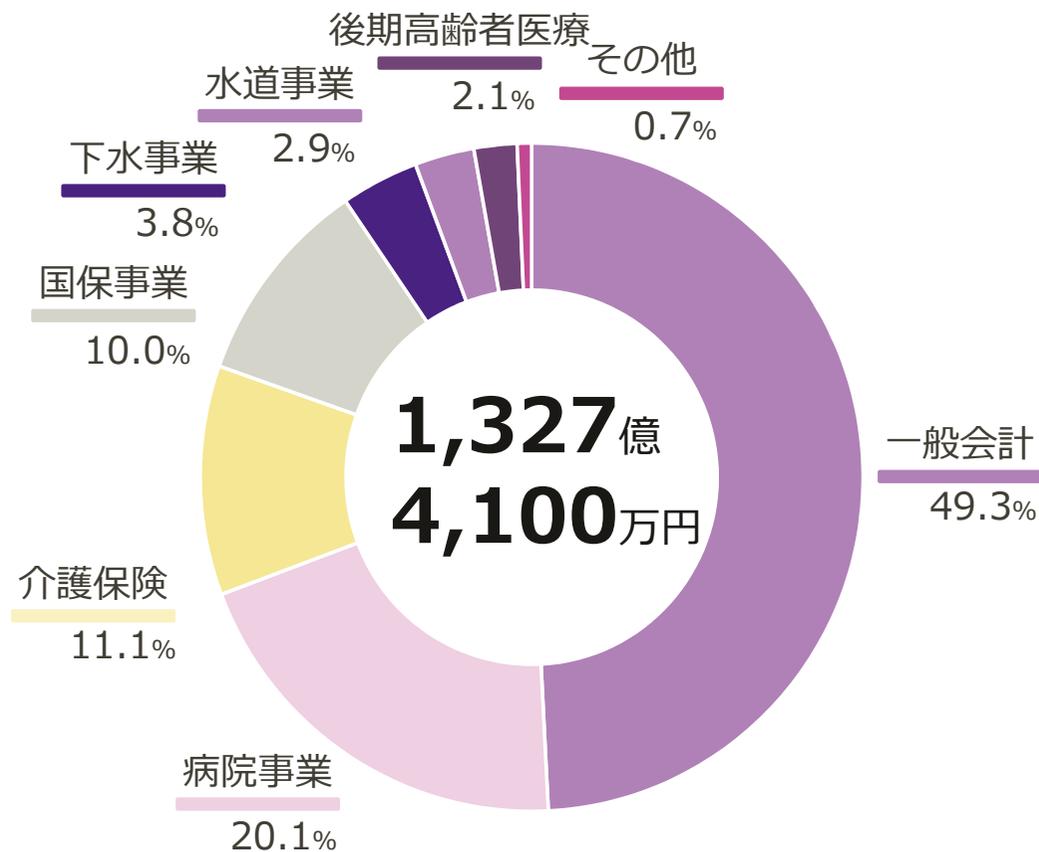
当初予算の規模



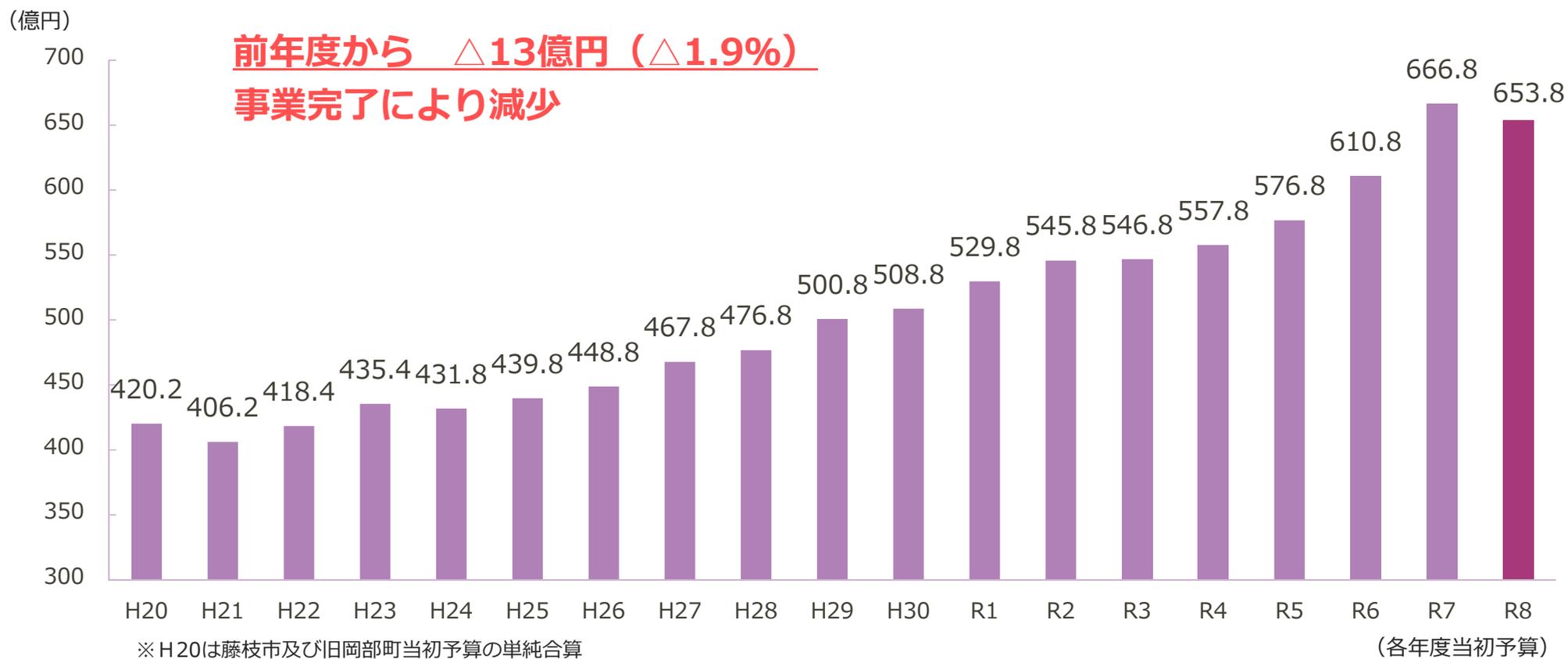
令和 8 年度 会計別予算構成

(前年度増減率)

| | | |
|----------|----------|-------|
| 一般会計 | 653.8 億円 | ▲1.9 |
| 病院事業 | 266.4 億円 | +3.0 |
| 介護保険 | 147.9 億円 | +3.6 |
| 国民健康保険事業 | 133.4 億円 | +1.1 |
| 下水道事業 | 49.9 億円 | +5.8 |
| 水道事業 | 38.2 億円 | ▲6.2 |
| 後期高齢者医療 | 28.5 億円 | +9.3 |
| その他の会計 | 9.3 億円 | ▲21.9 |



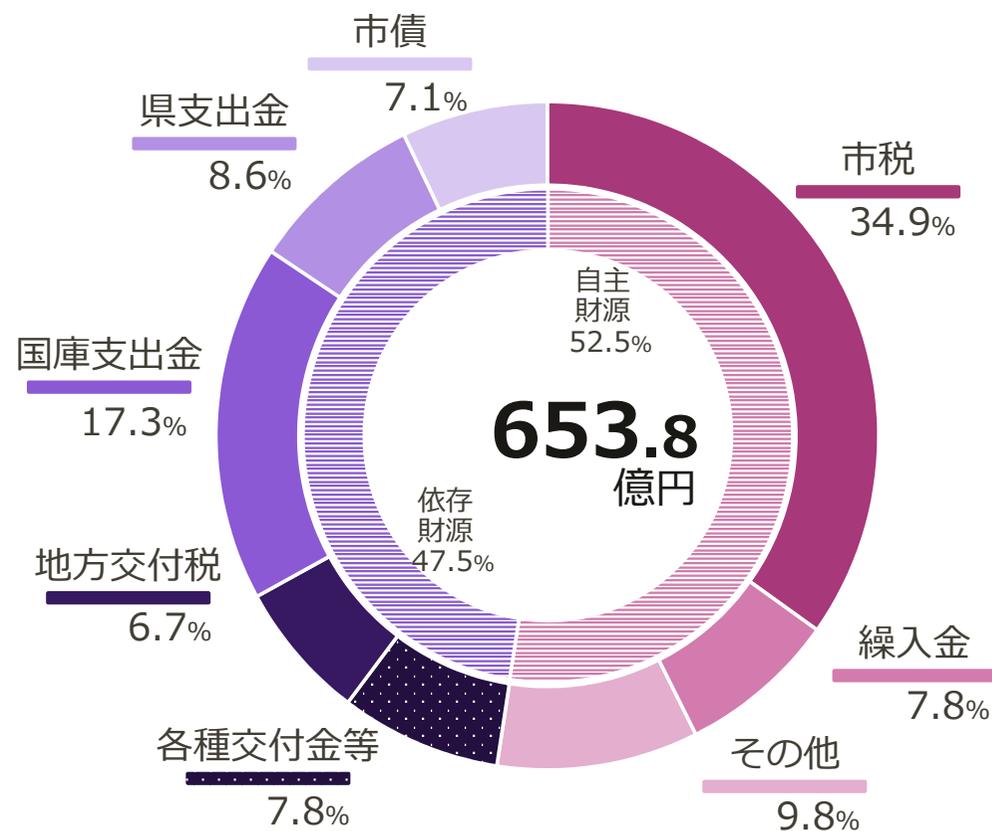
一般会計 予算額の推移



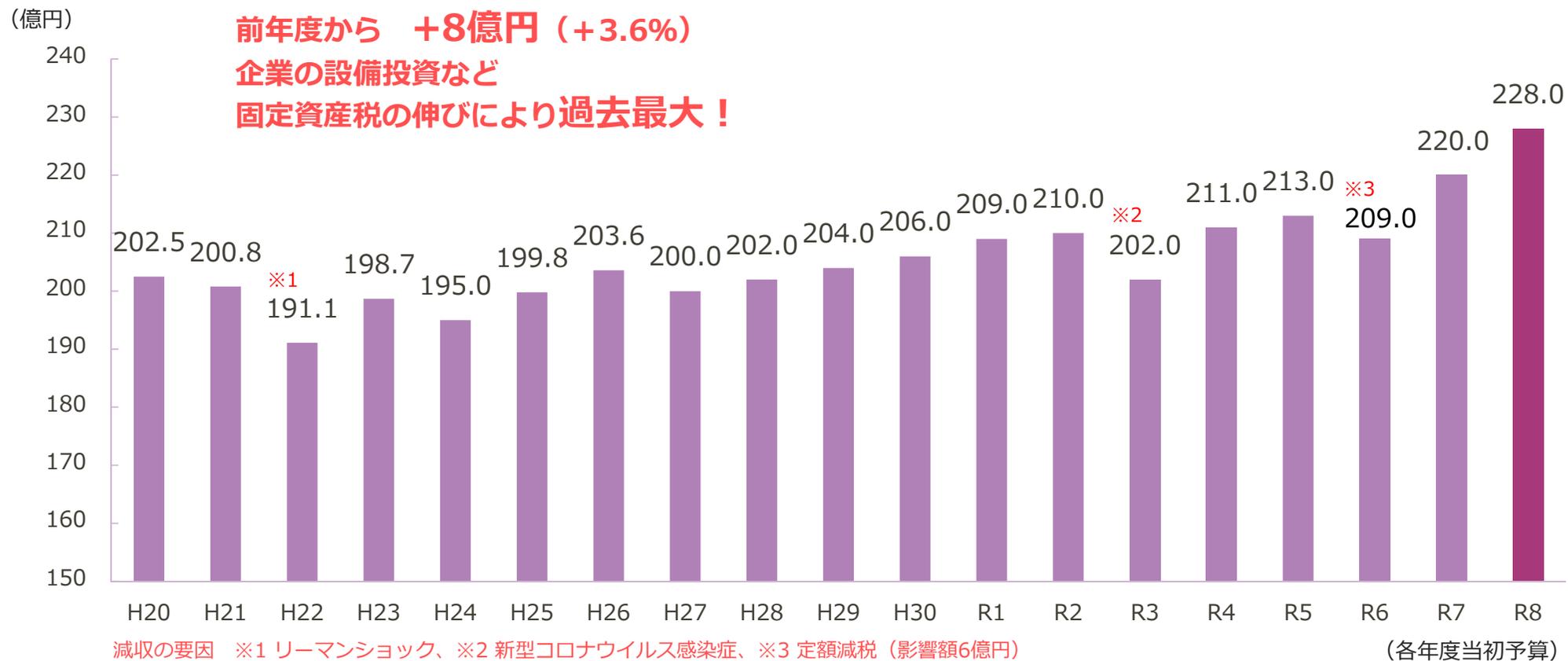
令和 8 年度 一般会計 歳入構成

(前年度増減率)

| | | |
|--------|----------|-------|
| 市税 | 228.0 億円 | +3.6 |
| 繰入金 | 50.6 億円 | ▲17.5 |
| その他 | 64.3 億円 | ▲21.1 |
| 各種交付金等 | 51.2 億円 | +11.1 |
| 地方交付税 | 44.0 億円 | +2.3 |
| 国庫支出金 | 113.1 億円 | ▲2.2 |
| 県支出金 | 56.0 億円 | +0.1 |
| 市債 | 46.6 億円 | +7.6 |



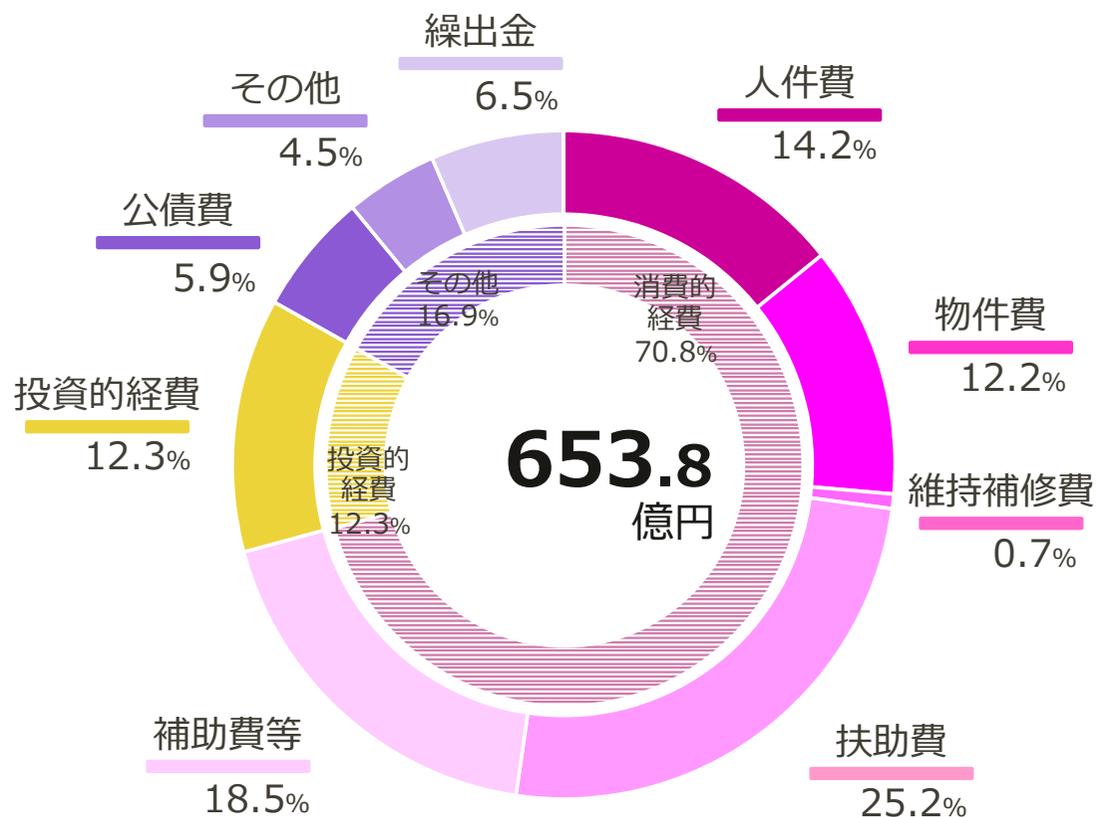
市税の推移



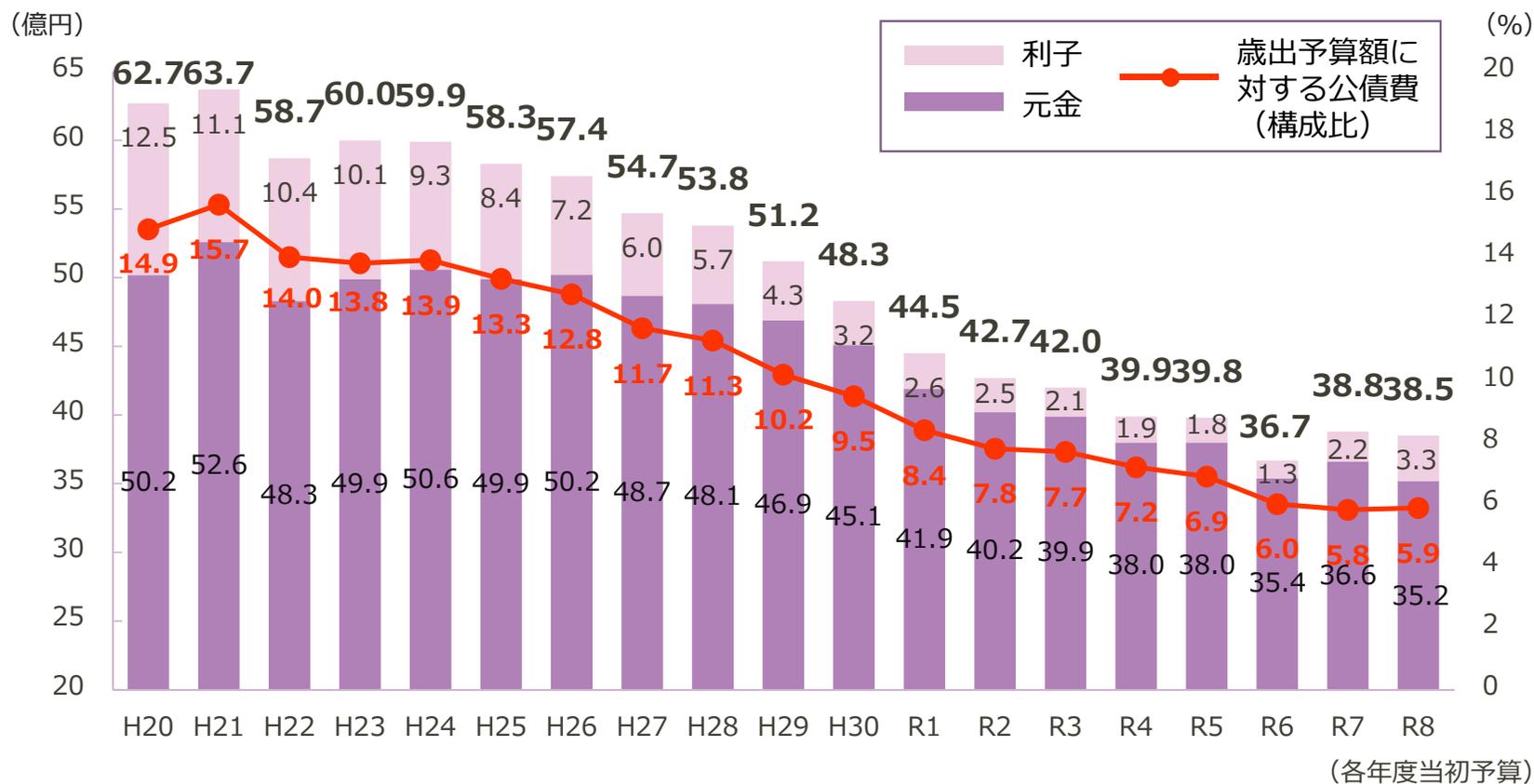
令和 8 年度 一般会計 歳出構成

(前年度増減率)

| | | |
|-------|----------|-------|
| 人件費 | 92.6 億円 | +7.4 |
| 物件費 | 79.9 億円 | ▲15.3 |
| 維持補修費 | 4.5 億円 | ▲3.1 |
| 扶助費 | 164.7 億円 | +0.4 |
| 補助費等 | 120.9 億円 | +11.9 |
| 投資的経費 | 80.7 億円 | ▲3.1 |
| 公債費 | 38.5 億円 | ▲1.0 |
| その他 | 29.5 億円 | ▲22.6 |
| 繰出金 | 42.5 億円 | ▲13.6 |



一般会計 公債費の推移



R7年度 **38.8億円**

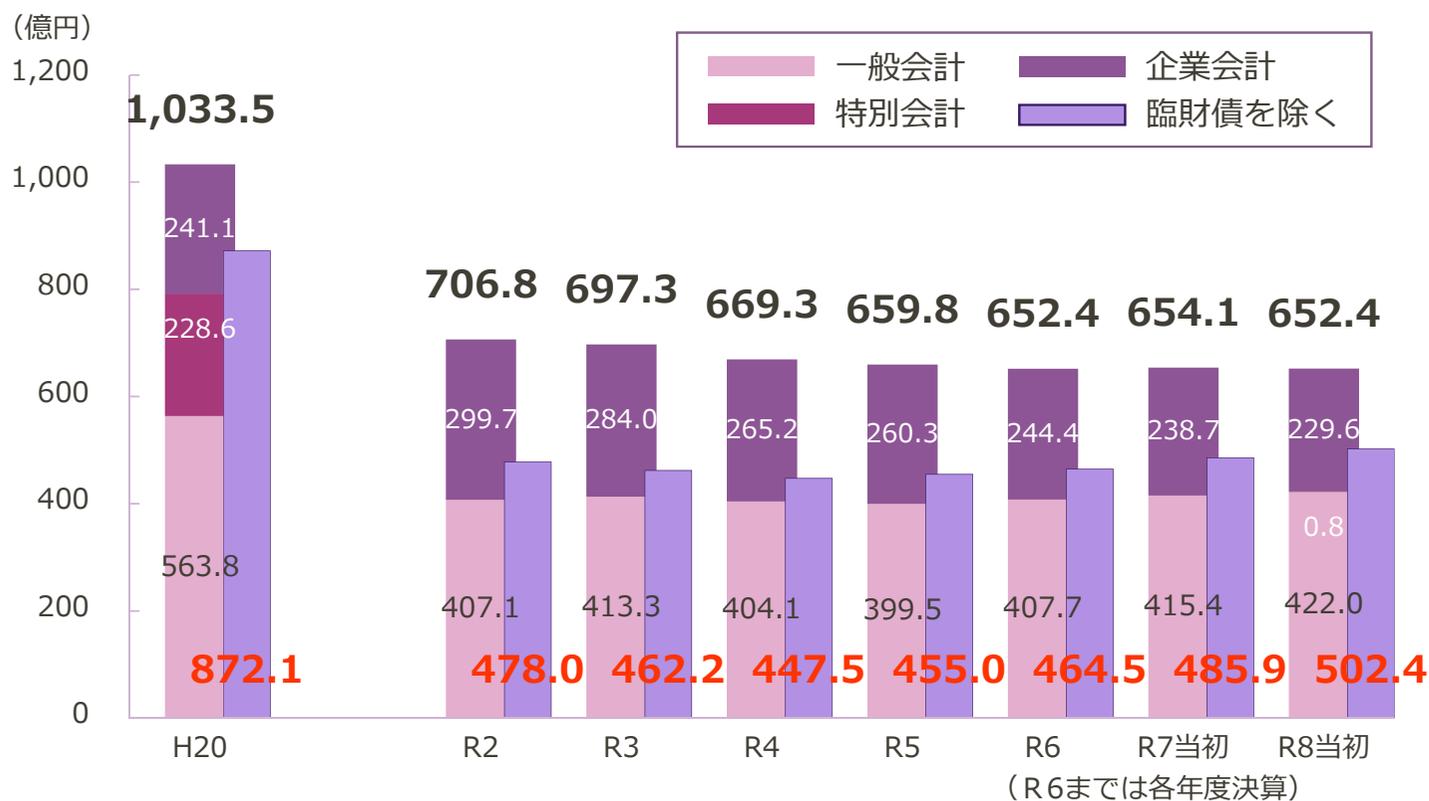
↓ **▲0.3億円**

R8年度 **38.5億円**

主な減少要因

- ・臨時財政対策債などの償還終了により、元金償還金が減少

各会計別 市債残高の推移



臨時財政対策債等を除く
全会計市債残高合計

R7年度当初

485.9億円



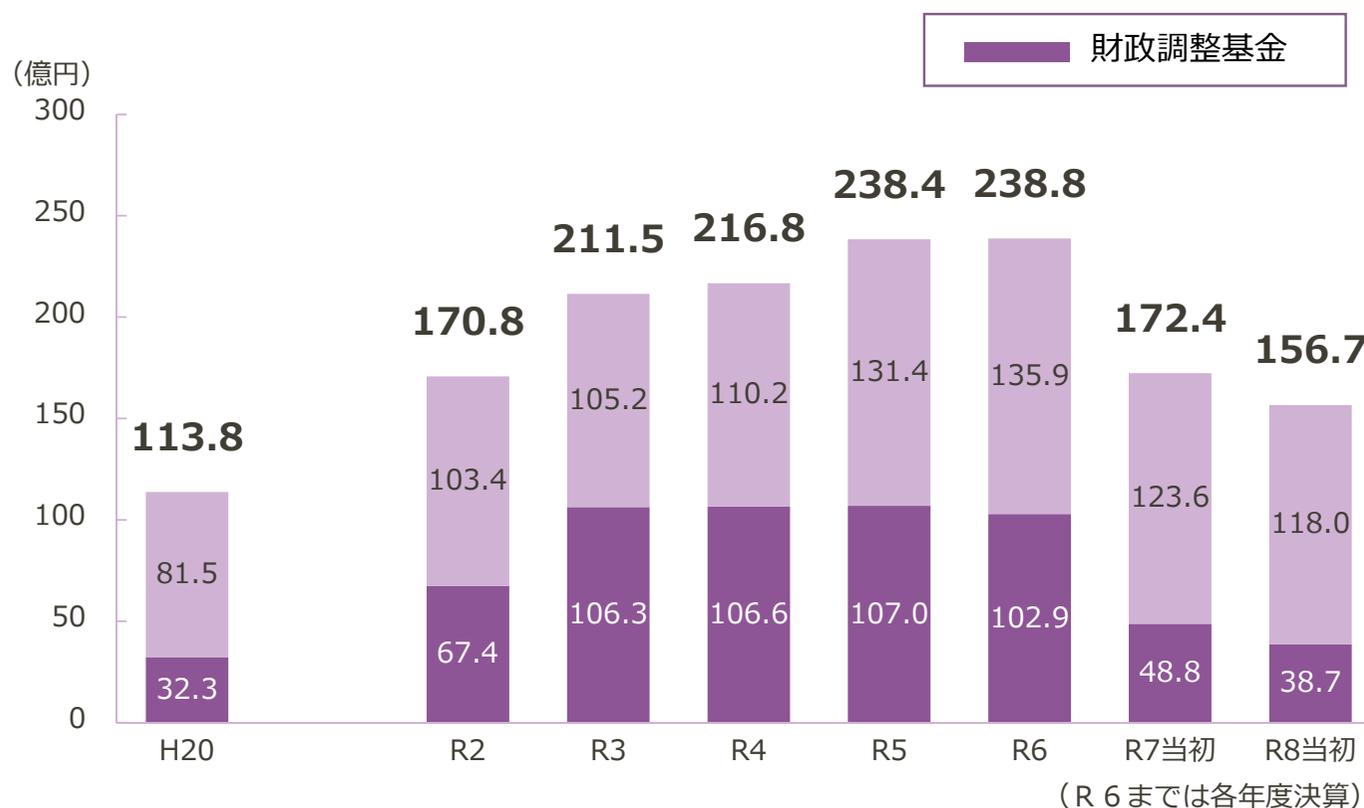
+16.5億円

R8年度当初

502.4億円

継続的な市債残高縮減と、必要となる
大型プロジェクトの積極的な推進を両輪に
市債残高は約500億円を維持し、
バランスを保ちつつ推移

基金残高の推移



基金残高の合計

R7年度当初

172.4億円



▲15.7億円

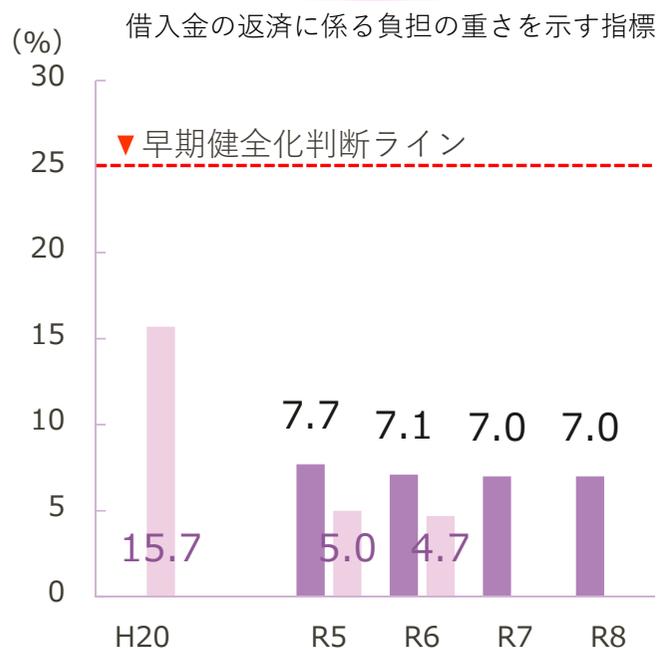
R8年度当初

156.7億円

財政調整基金は減少しているが、
事業目的に合わせて基金を積み立て
必要な財源を確保

各種指標の推計

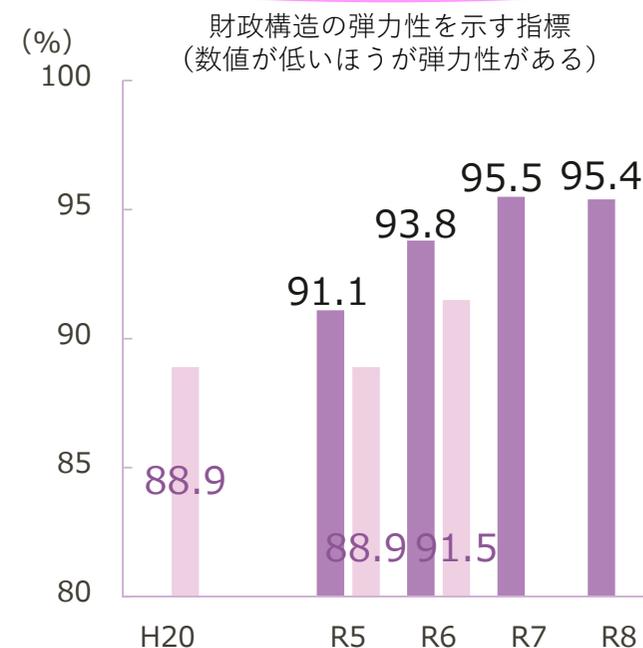
実質公債費比率



将来負担比率



経常収支比率



“必要な事業の推進”と“財政健全性”とのバランスのよい財政運営により

健全化判断比率は健全な範囲内で安定的に推移

■ 当初予算ベース
■ 決算ベース

今後の行財政経営のポイント

●人材の育成・活用、人員の適正配置

- ・多様な人材の育成、民間企業等との連携
- ・業務量に応じた適正な人員配置

●選択と集中による徹底した事業の見直し

- ・全事業総点検シートを活用した事業の効果や有効性による事業の点検、見直し

●将来を見据えた政策への積極的な投資

- ・中心市街地再開発や旧市街地、岡部町内谷地区工業用地の整備、学校給食センターの建設 等
- ・土地利用構想重点地区土地利用の推進、新たな基幹産業の創出や拠点づくりの推進
- ・幼保こ小連携によるこどもの支援や高齢者の生活支援、障害者の就労支援 等

●必要な財源の積極的な獲得

- ・国や県の施策や制度改正の動向の的確な把握
- ・物価高騰等を適切に反映した使用料、手数料の見直し
- ・後年度負担とのバランスを考慮した起債の有効活用
- ・企業誘致による安定的な市税の確保
- ・事業目的に合わせた基金の積み立て

行政組織に関する方針

“幸せになるまち”の実現へ

「変革と成長」を着実に前進させていくため、スリム化と機動性の向上をさらに進め、実行力を重視した体制の推進

持続可能な行政経営を支える、実行力重視の組織体制

危機管理センター内に「**水防対策室**」を再編

- ・ 予防保全と災害時の中枢機能の強化

産業振興部内に「**新産業ビジネス創造室**」を新設

- ・ 新産業創造の推進とスタートアップ支援等の強化

商業振興課内に「**商業まちづくり係**」を新設（商店街活性化推進室を再編）

- ・ 新しい商業組織づくりにより利便性の高い商業環境を創出

市立総合病院に「**家庭医療センター**」及び「**訪問看護ステーション**」を新設

- ・ 住み慣れた地域で安心して医療を受けることができる環境の創出

行政組織に関する方針（主な組織改編内容）

| 部局等 | 課・室 | 係・担当 | 狙い |
|---------------------|--------------------|---|----------------------------------|
| 危機管理センター | 水防対策室 【再編】 | 水防対策係【移管・再編】 | 予防保全と災害時の中枢機能の強化 |
| 産業振興部 | 産業政策課 | 産業政策係【再編】 エコノミックガーデニング推進係【改編】 雇用対策係【改編】 | 産業全般の振興、市内企業の成長支援、雇用促進・雇用対策の推進 |
| | 新産業ビジネス創造室 【新設】 | 新産業創造係【新設】 ビジネス支援係【改編】 | 新産業創造の推進とスタートアップ支援等の強化 |
| | 商業振興課 | 商業戦略係【再編】 商業まちづくり係【新設】 | 新しい商業組織づくりにより利便性の高い商業環境を創出 |
| 藤枝市立総合病院 | | | |
| 診療部 家庭医療センター【新設】 | 総合診療科 | | 日常的な健康管理から慢性疾患への対応、在宅医療や多職種連携を強化 |
| 地域医療支援センター | 訪問看護ステーション 【新設】 | 訪問看護係 | 24時間365日体制の看護サービスを提供、在宅医療を強化 |

職員体制の充実

市民・職員が幸せを実感できるまちづくりを実現するための「適正配置」と「職員力の向上」を推進

“未来へ繋がる、持続可能な藤枝”の実現に向けた
人財の適正配置

●職員数

788人(△11人) 正規756人(△10人)、再任用32人(△1人)
事業の見直し及び業務の効率化により総職員数の減員
を実現するとともに、重点施策を予定している部署は増員
するなどメリハリを付けた人事配置を実施。

●体制を強化して展開する主な施策等

- ・激甚化する水害に対応した治水対策の強化
- ・市全体の商業戦略と商店街の新たな組織づくりの支援
- ・シティプロモーション推進によるブランド力の強化
- ・新産業創造、起業創業、スタートアップ支援の推進 等

●弾力的な人事配置等による支援体制の充実 **New**

- ・育休代替任期付職員の採用
- ・育休取得者をサポートする職員への勤勉手当の加算

施策推進、組織活性化に向けた
職員力の向上

●職員のキャリア支援及びマネジメント強化

- ・視野を広げ、柔軟な発想力を育むための民間企業と連携した研修の充実
- ・職員が自由に履修できるeラーニング環境の充実

●職員育成及び人脈構築に向けた人事交流・派遣

- ・人事交流(8団体)：静岡県、静岡市、島田市、(株)静岡銀行
ペンリス市(研修派遣) **New** 他
- ・職員派遣(10団体)：環境省、(一財)地域創造、(一財)自治体
国際化協会、**地方税共同機構 New** 他

●多様な人材の活用

- ・デジタル統括監、観光交流統括監
- ・地域活性化起業人等 **拡充** ↑
(株)ABC Cooking Studio、サントリーホールディングス(株)、
東京藝術大学

2 重点事業

1 市民の命と安全・安心を 守る藤枝づくり

危機管理の充実・強化



防災資機材 (上) /土のうステーション (左下：イメージ)
/止水板 (右下)

《組織》
危機管理センター内に「水防対策室」を再編
予防保全と災害時の中枢機能の強化

自主防災会資機材整備事業費補助金 **4,260万円**

自主防災会の防災資機材や倉庫の整備を支援

補助対象：資機材、倉庫

補助率：2/3以内（令和8年度まで）

※上限75万円

New

浸水対策・水害対策の強化 **5,760万円**

水害に備え浸水対策の強化と迅速・的確な避難を支援

- ・ 止水板設置事業費補助金 **★県内初★**
- ・ 内水ハザードマップの更新
- ・ 土のうステーション設置 等

医療体制の充実・強化



家庭医療センター（イメージ）

《組織》

市立総合病院に「家庭医療センター」及び「訪問看護ステーション」を新設

住み慣れた地域で安心して医療を受けることができる環境の創出

（病院事業会計）

家庭医療センターの開院

1億3,035万円

在宅医療の拠点オープン「藤枝みんなのクリニック」

外来・訪問診療及び総合診療専門医の養成

訪問看護ステーションを併設

・ 場所：藤枝市南新屋246-1（近藤胃腸科外科跡地）

・ スケジュール

R8.4 開院

R8人員体制 医師 3名（指導医1名、専攻医2名）

看護師 3名

技師 1名

事務員等 3名

計10名

交通安全対策の推進

交通安全推進事業費

2,500万円

交通安全日本一に向けた取組を推進

- ・ 道路交通法の改正に伴い自転車青切符制度の周知啓発 **拡充** ↑
- ・ 自転車乗車用ヘルメット購入費補助金
- ・ 高齢者運転免許証自主返納の促進

通学路・通園路の交通安全対策を推進

2,300万円

道路の事故対策や交通安全施設の整備を支援

- ・ 通園路等のキッズゾーン整備（路面標示、区画線等）
- ・ 通学路危険箇所の改善（路面標示、区画線等）
- ・ ゾーン30交通安全施設の整備（路面標示、グリーンベルト等）



高校生による交通安全街頭啓発（イメージ）

防犯対策の推進

「藤枝市客引き行為等の禁止に関する条例」の制定

安心・安全で快適なまちづくりに寄与するため、県と連携して一定地域の客引き行為等を規制

○主な取組(予定)：禁止区域の指定、変更・解除、指導・勧告 等

R8.4 一部施行 ※市民周知(4~6月末)

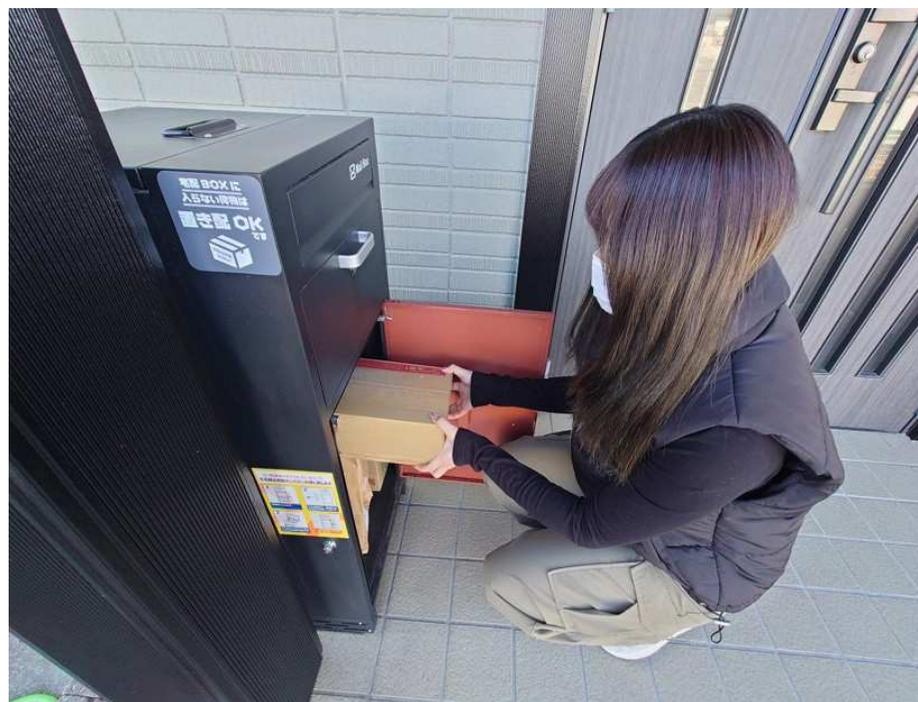
R8.7 指導及び勧告、立ち入り調査、罰則規定の施行

地域・住宅への防犯対策の強化

1,420万円

安全安心まちづくりを推進

- ・見守り防犯カメラ設置費補助金
自治会、町内会が主体となった防犯活動を支援
- ・特殊詐欺電話等防止機器購入費補助金
通話録音装置の購入経費を支援
- ・住宅用防犯対策費補助金
 - ①宅配ボックス設置費を支援
 - ②録画機能付きインターホン・屋外用防犯カメラの設置費を支援



宅配ボックス設置費を支援

安全な住環境基盤の整備



空き家の解体・撤去（上：解体前/下：解体後）

空き家の適切な管理の推進

1,700万円

老朽化した危険な空き家への対策

・住宅継承支援事業 New

昭和40年代後半から昭和50年代にかけて住宅地の造成が行われた地区の住民を対象に空家等管理活用支援法人と連携したセミナーを開催

・空き家解体・除却事業費

昭和56年5月31日以前に建築し、耐震診断で倒壊の危険性があると診断された木造の空き家の解体経費を支援

補助額：対象経費の23%以内で未接道地、狭あい道路地の場合、**最大補助額50万円** **拡充**↑

住宅・建築物耐震改修事業費

6,400万円

大規模地震に備え耐震診断や耐震補強の実施を支援

- ・ 専門家による無料診断及び相談
- ・ 木造住宅補強計画・耐震補強工事補助金 等

安全な住環境基盤の整備



仮宿高田線道路整備/天王町仮宿線道路整備

幹線道路網の整備

7億5,500万円

クリーンセンター事業、ふじのくにフロンティア事業、
藤枝バイパス等の整備に合わせた道路整備

- ・ 仮宿高田線道路整備
舗装工 L=710m
R8.6月暫定供用開始（予定）
- ・ 天王町仮宿線道路整備
道路工（仮宿工区）L=400m
工事負担金
※仮宿工区についてはR8.6月供用開始（予定）

2 市民の健康で豊かな暮らしを 実現する藤枝づくり

健康づくりの推進



女性の健康講座（イメージ）

健康経営プロジェクトの推進

1,400万円

健康・予防日本一に向けて健康都市ふじえだづくりを推進

・女性の健康講座 New

性差による健康課題について、正しい知識を持ち、理解を深める講座等の実施

- 女性が楽しみながら健康課題について学べる講座
健康推進課の保健師等による健康や栄養相談の実施、骨密度測定
- 企業側が女性の健康問題について理解を深める講座

定期予防接種費

4億7,000万円

対象市民の予防ワクチンの接種を促進

・RSワクチン New ※対象：妊娠28週から37週に至るまでの者

【こどもの予防接種】

- ・BCG ・日本脳炎 ・二種混合 ・麻しん風しん ・子宮頸がん
- ・ヒブ ・小児用肺炎球菌 ・水痘 ・B型肝炎 ・ロタ ・五種混合

【おとなの予防接種】

- ・インフルエンザ ・高齢者用肺炎球菌 ・新型コロナ ・带状疱疹

若い世代の暮らしの支援

子育て世帯等の移住定住の推進

1億7,600万円

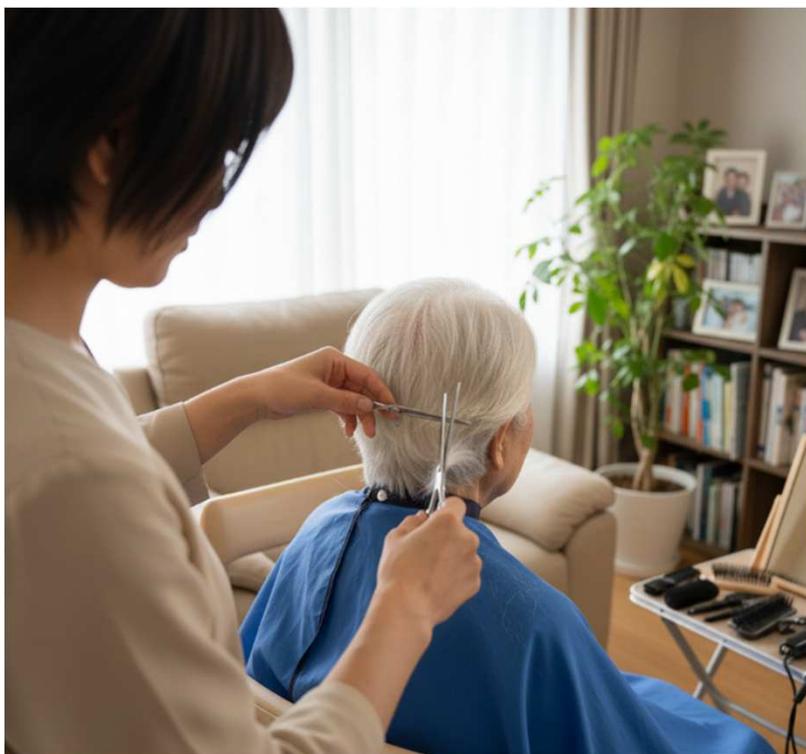
市内に居住を希望する子育て世帯等を支援

- ・子育てファミリー移住定住促進事業費
補助対象：住宅の取得・移転・改修（中古のみ）に要する経費
補助額：対象経費1/2 最大補助額150万円
優良田園加算：20万円 New
※優良田園住宅移住促進事業費補助金を統合
- ・仲良し夫婦移住定住促進事業費
補助対象：住宅の取得・移転・改修（中古のみ）に要する経費
補助額：対象経費1/2 最大補助額100万円



子育て世帯等を支援（イメージ）

高齢者支援と社会参画の推進



訪問理美容サービス利用（イメージ）

New

訪問理美容サービス利用助成事業費

100万円

高齢者の在宅福祉の充実を支援

対象者：①～④すべてに該当する者

①市内在住

②65歳以上

③要介護3以上の認定者

④特別養護老人ホーム等に入所または入居せず、
自宅で生活している者

助成回数：最大年4回まで

助成額：3,500円/回

高齢者補聴器購入助成費

500万円

聴力機能が低下した高齢者の補聴器の購入補助

対象者：市内在住の65歳以上で本人が市民税非課税の者で
医師が補聴器の使用を必要と認めたもの

助成額：補聴器購入経費1/2（上限5万円）

地域福祉の推進

地域生活総合サポート事業費

400万円

高齢者の運動、交流、買い物支援をサポート

高齢者を対象とした運動、交流、買い物支援をワンストップで提供する

対象地区：瀬戸谷・葉梨地区でトライアル事業 *New*
岡部町朝比奈地区

対象者：概ね70～80代

- 内 容：①健康チェック
②運動教室
③コミュニティ交流会
④買い物支援



いきいきセミナー

障害者支援の推進



医療的ケア児等の支援

「藤枝市手話言語条例」の制定

手話は言語であるという認識に基づき、手話言語の認識の普及・意思疎通の確保、社会参加と自立の支援、学習機会の拡充を推進

- 主な取組（予定）：
- ①手話リンクの導入 ★県内初★
市ホームページ等に設置した専用リンクから通訳オペレーターを介して、リアルタイムで通訳が可能
 - ②手話通訳者派遣事業
 - ③手話奉仕員養成講座

R8.4 施行

New

障害福祉サービス事業者支援事業費

100万円

医療型短期入所施設の設備を支援

- ・対象施設：重症心身障害児者や医療的ケア児等の受入れを行う施設 等
- ・対象経費：医療型短期入所施設等の設備等の整備費用
- ・補助率：1/2
上限50万円

地域コミュニティ・多文化共生の推進

多文化共生事業費

370万円

多文化への理解促進・交流を推進

- ・ Fujiedaワールドフェスタ
外国の文化への理解促進及び外国人との交流を図るためのイベント開催
時期：令和 8 年10月（予定）
内容：啓発展示、活動団体紹介ブース、レクリエーション 等
- ・ 通訳タブレットを活用した多言語通訳サービス
- ・ 通訳ボランティア派遣 等



外国人との交流イベント等の開催

生涯学習の充実

藤枝市民大学事業費

1,490万円

地域社会・地域経済を担う「人づくり」を推進

従来的一般教養コースや資格取得・体験コースによる幅広い学びに加え、リカレント教育・リスキリングコースを業務クオリティアップコースとし、実務分野に特化した専門性を深める内容へ充実させ、より実践的な学びを提供

・ 講義の内容により、会場開催に加え、

ライブ配信を実施 **New**

・ 開校5周年を記念したシンポジウムを開催 **New**

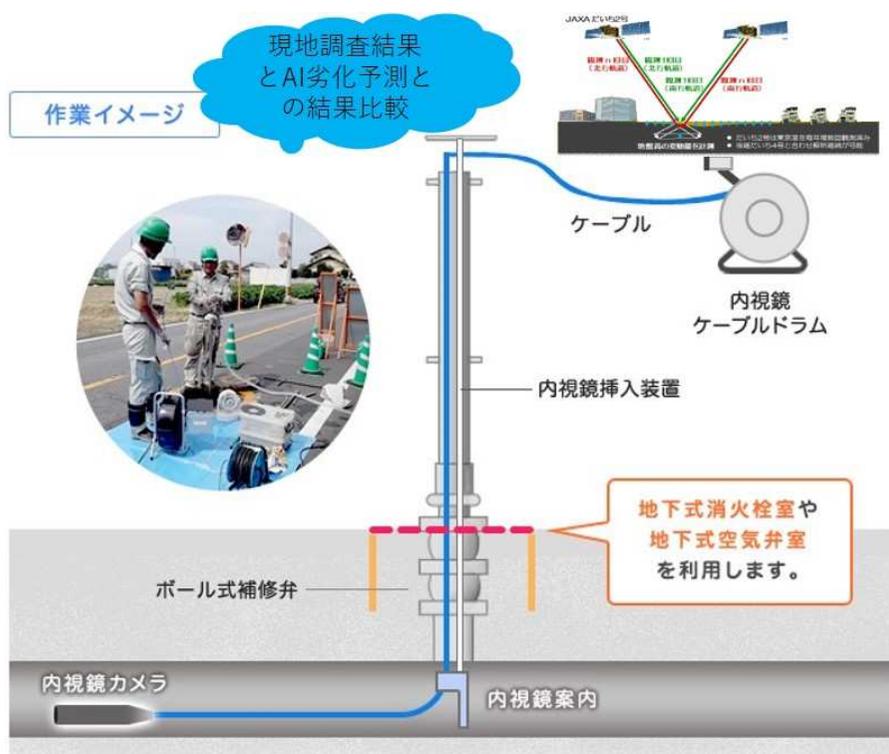
日程：令和9年2月7日（予定）

場所：藤枝市民会館



一般教養コース

スマートシティの形成



上下水道管維持管理（イメージ）

デジタル技術を活用した上下水道管維持管理の推進

1,000万円

上下水道管路の劣化状況を共同研究

AI技術を活用した上下水道管路の老朽度診断により、効率的な予防保全、持続可能な社会インフラをめざす

- R7 机上での上下水道管路の劣化損傷予測
- R8 現地調査による予測との比較検証
- R9 国の実証実験を活用した共同研究の深化

New

地域課題解決型デジタル活用推進事業費 500万円

デジタル技術を活用した地域課題の整理や解決を推進

デジタル技術を活用し、地域課題の解決や市民サービスの向上につながる事業を迅速かつ柔軟に実施

品格と魅力ある都市空間の創造



道路施設高質空間形成事業（イメージ）

旧市街地の総合的な再生の推進

2億1,550万円

旧市街地周辺の魅力を高める取組の推進

- ・岡出山公園再整備事業
人が集い、滞在し、回遊する広場の整備により
魅力を高め、さらなる賑わいの創出を図る
- ・道路施設高質空間形成事業
蓮華寺池公園から周辺商店街等への回遊性向上に向け、
道路施設の高質化を実施
裏道舗装の高質化、大谷川防護柵景観向上

安心な交通基盤づくり

自主運行バス等運行事業費

2億2,480万円

生活交通の確保に向けた取組を推進

・夜間バス停型乗合タクシー実証事業 *New*

中心市街地の経済活性、夜間の「交通空白」の解消を図り、路線バス最終便後に予約制のバス停型乗合タクシーを実証運行し、経済効果と効率的な輸送による採算性の確保について検証

実証路線：藤枝駅広幡線、藤枝駅光洋台線

実証期間：8月～9月

運行時間：22時～24時

運行日：週3日（金・土・日）

- ・自主運行バス、デマンド型乗合タクシー運行
自主運行バス 5 路線（藤枝ゆらく線 等）
デマンド型乗合タクシー 4 路線（葉梨線 等）



夜間バス停型乗合タクシー実証運行（イメージ）

3 こどもが健やかに学び、育つ 藤枝づくり

子育て支援の充実



こども誰でも通園制度

New

乳児等のための支援給付費

9,000万円

こども誰でも通園制度の実施

- ・保育所等に通っていないこどもの育ちを支援
対象：生後6か月から満3歳未満のこども
内容：月10時間までの預かりを実施

New

養育費確保支援事業費

85万円

ひとり親家庭の経済的な負担軽減を支援

- ・養育費の請求手続き費用等を支援
請求条件：離婚に際し、養育費の取り決めがあること
対象：20歳未満の児童を扶養する親権者
補助：公正証書等による債務名義作成費用 上限4.3万円
家裁への調停申立・裁判費用 上限7.6万円
保証契約費用 上限5.0万円

学校教育の充実

New

授業の質向上に向けた体制整備

120万円

授業改善に向けた新たな仕組みづくりの推進

- ・ 教育現場における生成 A I の活用促進
こどもたちの適切な生成 A I 利活用に向けた、教職員の生成 A I 対応能力の養成
- ・ 水泳授業外部委託等検討事業
民間プール施設を活用した水泳授業の実証実験を実施

こどもが安心して学べる環境づくり

2億6,160万円

児童生徒の安定した学校生活の支援

- ・ かけはしサポーターの配置 New
幼児教育と小学校教育の円滑な接続のため、園児の発達や学びを理解した支援員が小学 1 年生を支援
- ・ 学校看護師 4 人 → 5 人 拡充 ↑
- ・ 登校支援教室指導員 16 人 → 17 人 拡充 ↑
- ・ 心の健康観察事業 New
一人一台端末を活用した心の健康観察を実施



生成 A I 利活用(左上)/水泳授業(右上)/かけはしサポーター(下)(イメージ)

学校教育の充実

学校給食費の保護者負担の軽減対策

8,100万円

物価高騰による学校給食費保護者負担を軽減

物価高騰による給食費高騰分を支援

小学校支援額：

月額250円（※月額5,200円 → 月額5,450円(333円/食)）

中学校支援額：

月額1,500円（月額5,100円 → 月額6,600円(408円/食)）

※国の制度に基づき小学校の給食費の支援が開始
国支援額と給食食材費との差額は保護者負担となるが、
令和8年度は物価高騰対策として市独自で支援



学校での給食の様子

地域ぐるみでの教育の推進



状況に応じた居場所づくりの支援

子ども・若者の生活支援の推進

3,090万円

状況に応じた居場所づくりの支援

- 子ども・若者居場所事業費

実施回数：年間90日以上 → 年間150日程度 **拡充↑**

対象者：概ね13歳～25歳の不登校や引きこもりの
児童・生徒と就労できない若者

内容：居場所の提供、学習相談・支援、
進学・就労の相談・支援 等

- 子ども育成支援事業費

対象者：養育が十分でない児童

内容：学習支援、食事の提供、入浴・洗濯支援 等

- 子ども・若者居場所事業費

対象者：発達に課題があるなどの理由で
不登校になっている小中高生

内容：居場所支援、訪問支援、保護者支援 等

大学を核とした知の拠点づくり

大学とのまちづくり推進事業費

1,090万円

地域高度人材の育成、地元産業の活性化、学生の地元定着の支援

- ・ インキュベーション拠点活用促進事業 *New*

大正大学による（仮称）藤枝インキュベーションセンター開設に向けたシンポジウムの開催

- ・ 県内 6 大学との連携推進事業
- ・ 理系人材の育成
- ・ 首都圏大学との還流促進 等

New

ソーシャルビジネス創造拠点整備事業費 5,000万円

（仮称）藤枝インキュベーションセンターの整備を支援

- ・ 開設後は、人材育成、スタートアップの創出・育成、オープンイノベーションによる地域ビジネスの創出を推進



大学とのまちづくり推進事業（上）/（仮称）藤枝インキュベーションセンター（下：イメージ）

4 力強い地域産業を育み、 安心して働ける藤枝づくり

労働・雇用対策の推進



若者の地元就職への支援（イメージ）

若者の地元就職・雇用定着への支援の強化 1,680万円

大学等に進学する学生に地元就職と定住を促進

- ・ 中小企業等奨学金返還支援事業 **New**
 - 補助金：企業が返還支援する経費の2/3以内 上限8万円
- ・ Uターン・地元就職応援事業
 - 奨励金：50万円を交付
 - 対象者：①～③すべてを満たす者
 - ①プロジェクト登録かつ奨学ローン等利用者
 - ②大学等卒業後、市内1年間定住
 - ③正規雇用として1年間在職

働きやすい職場環境づくり

500万円

企業の働き方改革と職場環境の充実の促進

- ・ 働きやすい職場環境づくり応援フェア
 - フェア開催のほか、勉強会（5回程度）を実施
- ・ 介護休業取得支援補助金
 - 年度内に連続した5日以上 → 年度内に5日以上

エコノミックガーデニングの推進



DX牽引人材の育成

中小企業等のデジタル化の推進

1,500万円

デジタルを活用した人材育成、課題整理や解決への支援

- ・ **中小企業DX化支援事業 *New***

中小企業がDX化で抱える課題の整理から解決まで
伴走型で支援

- ・ デジタル経営診断事業

地元企業へのデジタル活用診断・分析等により経営
基盤強化及び地域産業の持続的成長につなげる

- ・ DX牽引人材育成事業

企業の社員や経営者等を対象にDX推進人材育成を
講義型で支援

多様な企業の立地促進

岡部町内谷地区工業用地整備の推進

6億720万円

岡部町内谷地区への企業誘致の推進

- ・ 県企業局への負担金
- ・ 用水路の整備
- ・ 道路、転倒堰、柵渠等の整備

New

産業用地開発の支援

100万円

地域未来投資促進法による企業立地を推進

- ・ 地域経済牽引事業計画策定支援事業
 専門家への相談費用を支援
 対象者：地域経済牽引事業を実施する事業者



岡部町内谷地区工業用地

多様な企業の立地促進



ビジネスプランコンテスト開催

《組織》
産業振興部内に「**新産業ビジネス創造室**」を新設
新産業創造の推進とスタートアップ支援等の強化

新産業創造推進事業費 800万円

新たな基幹的産業の創出を推進

- ・“食と農×健康・医療”による新たな産業・まちづくりを推進
- ・先導的ビジネス推進補助金の交付
補助率：1/2 上限100万円
- ・コーディネーター設置

企業間連携ビジネス創出支援事業費 700万円

企業やスタートアップ等とのオープンイノベーションを支援

- ・市内企業と首都圏のスタートアップ企業等との
ビジネス交流会
- ・ビジネスプランコンテスト

商業の振興



駅前 納涼市

《組織》

商業振興課内に「**商業まちづくり係**」を新設
(商店街活性化推進室を再編)

新しい商業組織づくりにより利便性の高い商業環境を創出

商業エリア賑わい創出事業費

500万円

地域コミュニティを支える商店街・商業地づくりを推進

- ・商店街解散後も商業地としての賑わい創出のため、
商店街解散後の承継団体へ商店街と同等の補助を実施 **New**
対象者：商店街団体もしくは商店街解散後の承継団体
実施場所：商店街が現に存在もしくは過去に存在していた
区域
- ・商業エリアで誘客促進を実施する市民団体や、複数の商店街
と市民団体の連携団体の事業を支援

農林業の振興

New

輸出拡大生産体制強化支援事業費 300万円

改植や新植、被覆栽培への転換の取組を支援

- ・ 有機茶及び碾茶（てんちゃ）等の生産に適した品種への改植
補助：対象経費の1/2 15.2万円/10 a 以内
- ・ 改植等に伴う植栽初期管理
補助：対象経費の1/2 14.1万円/10 a 以内
- ・ 碾茶（てんちゃ）生産のための被覆栽培への転換
補助：対象経費の1/2 10万円/10 a 以内
- ・ 有機茶及び碾茶（てんちゃ）等の生産に適した品種の新植
補助：対象経費の1/2 12万円/10 a 以内

有機農業産地づくり推進事業費 950万円

オーガニックビレッジ確立に向けた取組を推進

有機農産物の産地づくりとブランド化・消費までの循環を確立

- ・ 有機栽培普及推進事業 New
体験圃場の実施により新たな担い手確保等の取組
- ・ 有機転換推進事業補助金 New
補助：2万円/10a以内



有機茶への新植整備

農林業の振興

New

農業高温対策支援事業費

300万円

農業者及び農作物への高温対策を支援

対象者：市内在住の農産物販売額が50万円以上の農業者
及び法人（認定農業者、認定新規就農者を含む）

- ・空調服等熱中症対策（ファン付き作業服など）
補助：1/3以内 上限5万円
- ・高温対策（遮熱剤散布、遮光カーテン、散水ホース等）
補助：1/3以内 上限20万円



高温対策（ドローンによる遮熱剤散布）

5 魅力と活力、持続力ある 地域がつながる藤枝づくり

観光・交流の推進及び中山間地域の活性化



道の駅ゆとりえせとや/アートイベントの開催支援

New

陶芸村構想推進事業費

1,450万円

令和 8 年 4 月、中山間エリアに新たな拠点施設がオープン

- ・東京藝術大学との連携
 - ①藤枝の地域資源を活かした作陶の研究
 - ②若手芸術家の移住促進に向けた課題研究
 - ③藤枝の歴史、文化を踏まえた「陶芸・アートを活かした地域づくり」の研究
- ・AIR（アーティストインレジデンス）事業
国内外アーティストの滞在制作による陶芸村構想の発信強化
- ・「新しい創作」を発信するアートイベントの開催支援

スポーツの推進

マルチスポーツ推進事業費

130万円

幼少期の運動機会の充実や基礎運動能力の向上を支援

- ・ 幼稚園・保育園などへのバルシューレ巡回教室 **New**
ドイツ発祥のボール運動プログラムを活用し、ボール遊びを楽しみながら運動の土台を身につける
- ・ バルシューレ指導者養成講習会 **New**
国内唯一のバルシューレ A 級コーチを招き、スポーツ少年団や幼稚園・保育園の先生等を対象に講習会を実施
- ・ わくわく運動チャレンジ（体力測定）
発育段階の年中児・年長児を対象に現時点の運動能力を測り数値化することにより、こどもたちの運動能力向上を支援

バルシューレ … 基礎的な運動能力に加え、協調性や創造性を、遊びを通して楽しみながら身につけるドイツ発祥のボール運動プログラム



基礎運動能力の向上のためのボール遊び

文化の振興

5 魅力と活力、持続力ある地域がつながる藤枝づくり



博物館・文学館での特別展

若手音楽家育成・支援事業費

200万円

音楽によるまちづくりの推進

対象者：市内の小学生～大学生等

①ワークショップ（8月～1月）

- ・プロの音楽家による演奏や機材の扱い方等の指導
- ・滞在型音楽スタジオでの収録体験

②成果発表会（2～3月頃）

歴史・文化・芸術に触れる環境づくり

1,850万円

博物館・文学館事業の促進

・博物館

特別展・企画展5回

R9.2～3「原田純夫映像展 ワイルドロッキー」他

・文学館

特別展2回

R8.4～6「さとうわきこ展 星をみつけておもいだす」他

多彩な拠点づくり

旧市街地分散型まちづくり推進事業費

200万円

旧市街地の魅力を高める取組の推進

- ・分散型まちづくりの推進
 - ①地域住民の意識醸成を図るセミナー
 - ②ワークショップの実施
 - ③歴史・文化を感じる地域資源を活用した体験プログラムの検討

戦略的土地利用推進事業費

2,500万円

土地利用構想重点地区の土地利用を推進

- ・水上地区
 - 企業ヒアリング、基本方針策定、事業方式検討、まちづくり協議会運営 等
- ・市内全域の産業用地開発可能性調査



「分散型まちづくり」キックオフシンポジウム

中心市街地の活性化



駅前一丁目 9 街区市街地再開発事業（建設中）

New

まちなかウォークアブル推進事業費 2,600万円

居心地が良く歩きたくなるまちなかづくりを推進

- ・まちなかウォークアブル推進計画策定に伴う基礎調査
交通量調査、人流把握、ニーズ調査等の実施

中心市街地再開発の推進 15億460万円

駅前地区の再開発により街なか居住を推進

- ・駅前一丁目6街区（0.3ha）
地盤調査、実施設計、権利変換計画作成
- ・駅前一丁目9街区（0.3ha）
建築設計（工事監理）、共同施設整備

6 豊かな自然環境と資源を守り 次代につながる藤枝づくり

地球温暖化対策の推進



学校体育館の空調整備（イメージ）

熱中症への対策の推進

4億6,988万円

熱中症に対する対策の推進

- ・空調設備整備事業費
学校体育館に空調を整備
R8整備工事：藤枝小、青島小、大洲小、高洲南小、
葉梨中、広幡中
R8実施設計（R9整備予定）：小・中学校計7校
- ・従業員労働環境改善事業費 **拡充**↑
補助額上限50千円（補助率1/3）、対象に個人事業主を追加
- ・農業高温対策支援事業費 **New**（再掲）
補助対象：①空調服等 ②高温対策に必要な機器、資材等
補助：①1/3以内 上限5万円 ②1/3以内 上限20万円
- ・まち美化里親制度 **拡充**↑
熱中症対策物品の支給を追加
- ・熱中症対策事業費 **拡充**↑
民生委員と連携した高齢者の熱中症予防行動定着支援

資源循環の推進

クリーンセンター志太の整備の推進 13億2,444万円

志太広域事務組合によるクリーンセンター整備費の負担

高効率ごみ発電システムの導入や省エネルギーシステムの導入の促進等により、温室効果ガス（CO₂）排出量を削減

・スケジュール

R8.7月 試運転開始

R8.9月 全量投入開始

R9.1月 供用開始

エネルギー地産地消推進事業費

100万円

温室効果ガス削減を推進

・ J-クレジット制度に協調した補助

対象者 : J-クレジット制度に登録・認証された事業者

対象経費 : J-クレジット登録・認証に要する経費

補助額 : 330千円 ⇒ **500千円** **拡充**↑ (補助率1/2)



クリーンセンター志太（建設中）

自然と共生する生活環境づくり



竹林の適正管理の推進

森林・竹林の適正管理の推進

4,900万円

適切な森林環境整備の実施や林業経営の効率化を推進

- ・ 森林環境整備推進事業費
- ・ 竹林対策事業費

竹林再整備事業費補助金 New

竹林の間伐と維持管理、伐採した竹の利活用を実施する
団体へ支援

補助率：10/10 上限35万円

生物多様性推進事業費

40万円

生物の保護や市民学習の場の拡充を支援

- ・ ビオトープの認定及び活動支援 New

支援員派遣、認定委員会、情報交換会

- ・ ビオトープ活動支援補助金 New

対象者：市のビオトープ認定を受けた団体

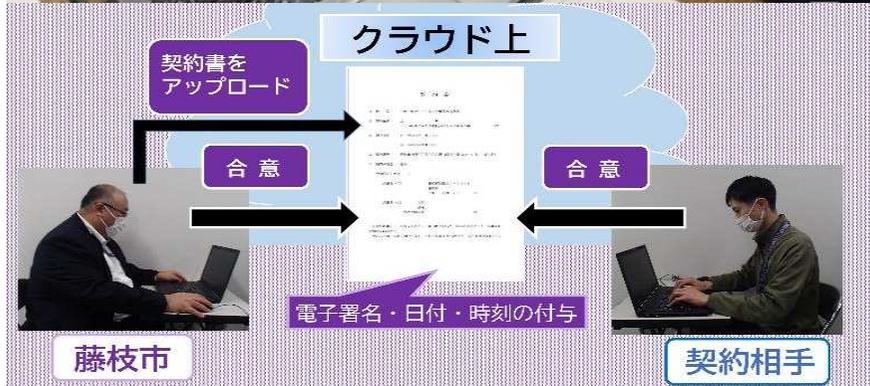
対象経費：①維持管理に要する経費

②普及啓発活動に要する経費

補助額：①②上限1万円

7 夢と希望にあふれ、 未来につながる藤枝づくり

市民目線による行政の推進



GIS情報の集約化（上）/電子契約システム（下）（イメージ）

New

統合型・市民公開GIS構築事業費

3,800万円

対応状況の一元管理により管理業務DXを推進

- ・ GIS情報の集約化
道路台帳GIS及び危機管理用GISを一本化
通学区・町内会区割等の情報
- ・ 道路等インフラ管理の効率化
市民通報の即時反映、対応完了までを一元管理
対応状況を市民や事業者へ可視化させる

New

電子契約システム経費

160万円

事務作業の効率化によるペーパーレス化の推進

- ・ スケジュール
R8.4～7 業者選定、規則等の整備、改正
8～9 事業者・職員向け説明会
10～ 運用開始

「選ばれるまち」づくりの推進

New

シティ・プロモーション戦略の推進 2,600万円

インナー×アウタープロモーションの強化

- ・シティ・プロモーション専門官を配置（地域活性化起業人）
民間手法のエリアマーケティングに基づくプロモーションを展開
- ・地域戦略アドバイザー任命
地元企業とのネットワークやメディア領域の意見を活用

New

関係人口来訪支援事業費 150万円

関係人口の拡大による地域経済の活性化

- ・持続的な関係性の構築
転出者など、本市にゆかりのある人との継続的な関係性を構築するための情報発信の強化
- ・本市への来訪者を増やす取組
地域活動の担い手や企業の課題解決に資する人材を呼び込むため、滞在費等の費用助成を行う。



関係人口の来訪支援

～住まう魅力・訪れる魅力の発信～

関係人口来訪支援事業

広域連携の推進

国際交流事業費

600万円

友好都市、姉妹都市との国際交流を促進

・ペンリス市との連携交流の深化 **拡充** ↑

R7の対面での交流再開を契機に、教育や産業分野など、さらなる交流の輪の拡大を図るとともに、市職員の語学運用能力の向上を目指す。

【主な取組】

①産業分野での連携に向けた市場調査・現地関係者との協議

※現地派遣にあたっては、意欲ある職員を公募により選定する。

②職員の国際感覚醸成のための研修会の実施

③学生同士の交流機会の提供



ペンリス市長表敬

経営資源を活かす行財政運営

人事交流等働きやすい環境づくり（再掲） 700万円 自己実現・柔軟な働き方を推進



仕事と家庭の両立をしやすい環境づくりの推進

- ・ 人事交流・職員派遣（国、県、外郭団体及び民間企業等）
地方税共同機構、ペンリス市（研修派遣）New
環境省、（一財）地域創造、（一財）自治体国際化協会、
地方公共団体情報システム機構、地方公共団体金融機構 等
- ・ 産休・育休により年度途中で欠員が生じた職場に対する支援
①育休代替任期付職員の採用 New
②育休取得する同僚を支援する職員への勤勉手当の加算 New

3 その他の取組

新公共経営プロジェクトチーム

まちづくりのターゲット世代である若手職員が柔軟な発想や感性を発揮し、市政の改革・発展につながる施策を市長に提言

テーマ：共創でつなぐ藤枝の未来
 ～魅力を誇りに、つながりを力に～

- ① 「市民」 …地域コミュニティの再生と強化・参加促進
- ② 「行政」 …持続可能な行政サービス提供体制の確立
- ③ 「都市力」 …地域資源の磨き上げと持続的な活力の創出



主な提言内容

| | 提言内容 | 目的 | 仕組み | 予算額 |
|---|-----------------------|---|---|---------|
| ① | 地図型 SNS 「ふじえだつながるマップ」 | 地域の多様な情報を一元化し、発信・受信できる環境を整備することで、地域コミュニティの活性化につなげるとともに、誰ひとり取り残さない地域社会の実現に資する。 | ・行政、自治会、市民が様々な情報を取得できるプラットフォームの構築を想定。利用者は一元化された地域情報を迅速かつ簡易に取得できる。 | 3,800万円 |
| ② | 防災ワークショップ | 市民の防災知識・スキルを養い、「共助」の体制構築に向けた意識の醸成を目的とする。 | ・防災に関する体験型ワークショップを学校及び地域イベントにおいて開催する。 | 88万円 |

ふじえだガールズ・ミーティング



女子学生ならではの視点で、藤枝の新たな魅力の創出に向けた様々な活動を実施



ガールズ・ミーティングからの意見

地域資源を活かした来訪・交流人口拡大

市を象徴するサッカーをはじめとするプロスポーツを地域資源として活かした市内への回遊・滞在促進

ふるさと納税を通じた全国への魅力発信強化

藤枝市の認知度向上を図るため、全国に向けて発信力のあるふるさと納税を活かしたプロモーション強化

施策（予算）への反映

宿泊客誘客促進事業
1,100万円

藤枝の魅力創出事業
1億6,546万円

藤枝のファン拡大に向けたチャレンジ

「藤枝ファン創出プログラム～LOVE♥FUJIEDA～」をテーマに、藤枝MYFCと連携し若い世代のファンを増やすため、藤枝MYFC学校祭企画・プロモーションや、昨年度からの継続した取組として様々なSNS媒体を用いた朝ラーメン、サッカー推し飯の魅力発信と藤枝市ふるさと納税の公式ロゴマークの作成を女子学生ならではの視点で行った。



藤枝MYFC学校祭



ふるさと納税ロゴマーク

藤枝朝活ラーメン



藤枝Jリーガー推し飯



女性活躍推進会議 フジエンヌ

各部局から選出された女性職員が働きやすい職場環境づくりに向けて調査研究を行い、施策を市長に提言
令和 7 年度に引続き男性職員との合同会議を設け、男女が共に仕事と家庭を両立できる働きやすい職場環境づくりに向けて調査研究を実施

日々の業務にデジタル技術を活用 ～職員一人ひとりが力を発揮できる職場環境の実現に向けて～



| 課題 | 提言事項 | 令和 8 年度 実施内容 |
|---|--------------|---------------------------------|
| 資料・調書作成に多くの時間を要する 業務量が年々増加・高度化している 人員や時間には限りがある | ①デジタル活用事例の共有 | スターオフィス上でAIやRPA等の活用事例、FAQを共有 |
| | ②デジタル研修の充実 | デジタル技術に関する職員寺子屋や階層別研修を実施 |
| | ③デジタル人財の活用 | デジタル技術を習得した職員にバッジ等を進呈し、講師役として活躍 |



“将来に希望がもてるまち”藤枝へ

市民一人ひとりが**活躍**し
活力ある都市を創り
将来に希望をもって**活動**する

まちづくりを
進めてまいります

令和8年度 当初予算・組織の概要